

令和6年度 公共事業再評価調査

1. 事業説明シート

(区分) **国補** 県単

事業名	道路事業 [県道橋りょう改築事業 (国補)]		事業箇所	葦崎市大草町上條東割	地区名	(一) 北原下条南割線 (羽根工区)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	--	------	------------	-----	--------------------	------	-----

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H29~R6	~	H29~R11
総事業費	900 百万円	— 百万円	1,150 百万円

④特記事項 (関連事業概要等)
 (一) 北原下条南割線 (下条南割工区)
 道路改良L=320m・H20~H22・C=約3.2億円

①事業目的及び効果

本路線は、葦崎市大草町若尾を起点に同市竜岡町下条南割に至る延長3.2kmの補助幹線道路である。当該箇所は、朝・夕の通勤時間帯を中心に交通量が多い箇所であるが、道路幅員が6m程度しかなく、南宮神社西側では道路が90度に屈曲するなど、交通の隘路となっている。

また、付近に甘利小学校があり多くの児童が通学路として利用しているため、歩行者と自動車輻輳し危険な状態である。なお、当該箇所は「葦崎市通学路交通安全プログラム」にも位置づけられており、早急な対策が求められている。

- 主要目標 ○歩行者等の安全性の確保
- 歩行者・自転車交通量：231人台(事前評価時点) > 80人台/12h以上 ※
 - 自動車交通量：3,512台(事前評価時点) > 3,340台/12h以上 ※
 - 通学路の指定：指定あり
 - 現況の歩道幅員：歩道なし < 1.4m未滿 ※ ※評価基準値

- 副次目標 ○生活圈中心都市・拠点機能へのアクセス向上

- 副次効果 ○走行安全性の確保
 ○バリアフリー化の促進

②事業概要

道路改良 L=900m W=5.5 (9.5) m

③全体計画

		令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降
現計画	工事内容	調査設計 用地取得・補償 埋蔵文化財調査 道路改良工事	道路改良工事 道路台帳整備	
	事業費	842 百万円	58 百万円	
変更計画	工事内容	調査設計 用地取得・補償 埋蔵文化財調査 道路改良工事	用地取得・補償 埋蔵文化財調査 道路改良工事	用地取得・補償 埋蔵文化財調査 道路改良工事
	事業費	782 百万円	21 百万円	347 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

⑤これまでの評価状況

なし

(2) 事業位置図等



2.評価シート(1)

(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)

①地域・住民の意向状況

・変化なし

②産業・経済情勢

・変化なし

③国等の方針

・変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」(令和5年10月改訂)
- ・「山梨県強靱化計画」(令和6年3月改定)
- ・「山梨県社会資本整備重点計画(第4次)」(令和4年9月改定)
- ・「山梨県道路の整備に関するプログラム」(令和6年3月)

⑤自然環境条件等

・変化なし

⑥その他

・変化なし

(2) 評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費		900	百万円	1,150	百万円
工期		H29~R6		H29~R11	
評価基準年		H29		R6	
経済 効率 性	費用	787	百万円	1,190	百万円
	建設費	732	百万円	1,131	百万円
	維持管理費	55	百万円	59	百万円
	その他()	0	百万円	0	百万円
	便益	1,839	百万円	3,068	百万円
	走行時間短縮	1,528	百万円	2,634	百万円
	走行経費減少	38	百万円	132	百万円
	交通事故減少	11	百万円	2	百万円
	その他※	262	百万円	300	百万円
	B/C		2.3		2.6

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益

(3) これまでの計画変更等の概要

なし

評価シート（2）

（4）事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R6年度進捗率（現計画）100%→（実績）93.6%→（変更計画）69.8%

②進捗率実績が計画と相違している理由
用地取得の遅れや埋蔵文化財本調査が必要になったことにより、進捗に遅延が生じている。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
補償費	100 百万円 増	歩道の設置区間の追加に伴い、補償対象物件が増加したため
歩道工	150 百万円 増	歩道の設置区間の追加に伴い、工事費が増加したため
合計	250 百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定
今後の埋蔵文化財本調査や用地取得に2年程度要する見込みであり、その後の工事期間を見込んで工期を5年延長し、令和11年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点
未契約用地については、継続して用地交渉に努め、早期に契約を行う。

（5）環境負荷等への配慮

なし

（6）コスト削減の可能性

なし

（7）代替案立案の可能性

なし

（8）所管部の今後の方針 継続 **見直し継続** ・ その他（ ）

（理由）
当該事業により甘利小学校の通学路の安全性や北杜市方面へアクセス性が向上することから、早急に整備する必要がある。
未契約者には継続して用地交渉に努め、事業費と工期を見直し、令和11年度の完成を予定している。

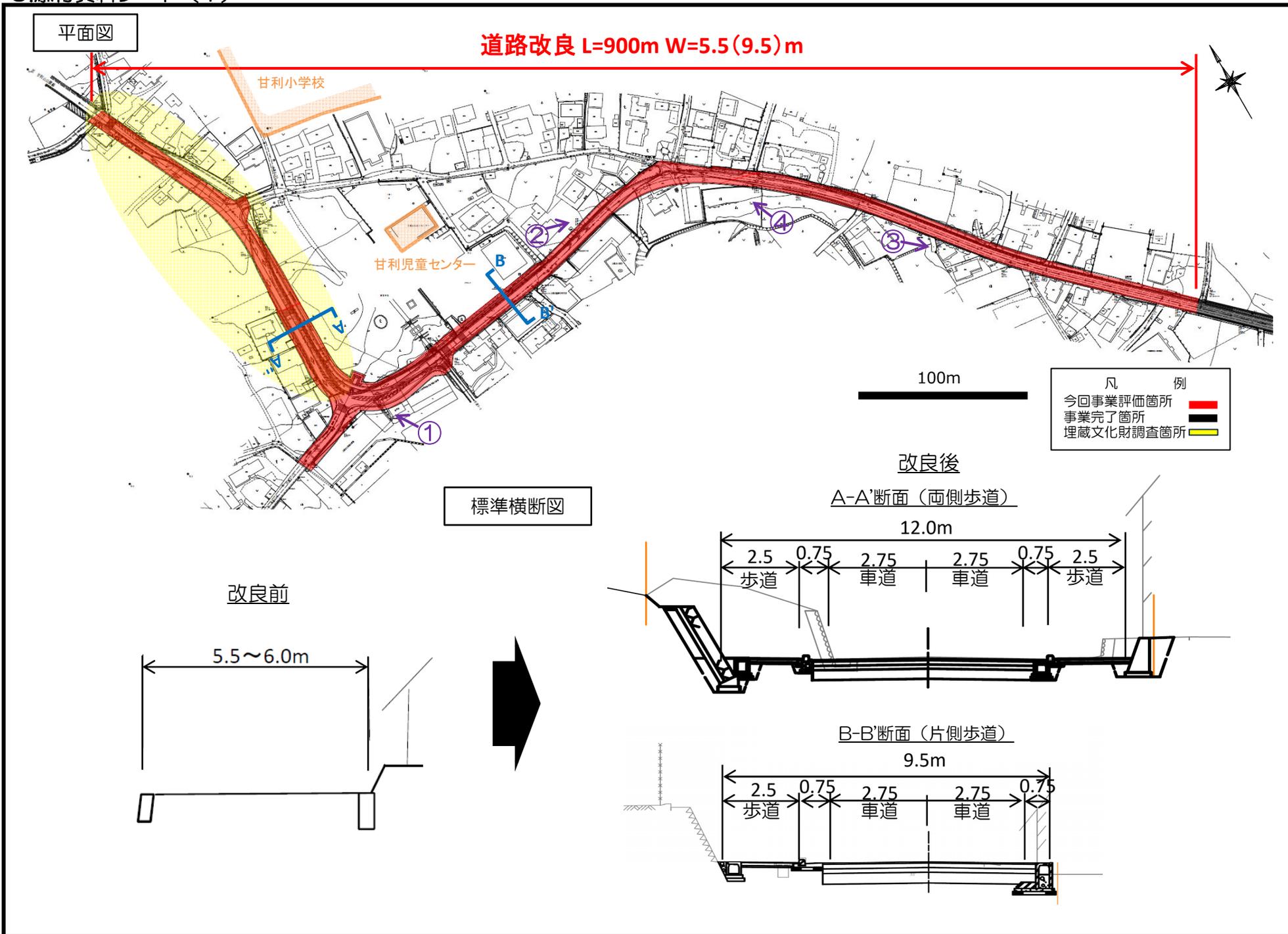
○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

年度	*H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	*R06	R07	R08	R09	R10	R11
現	計画	3.3	28.3	50.6	62.2	73.3	82.2	91.1	100.0				
	実績	1.1	9.7	41.0	43.0	48.0	67.0	87.0	93.6				
変更計画								69.8	79.8	85.0	90.3	97.2	100.0

*事業着手年度又は評価年度
*R6年度の実績は見込み

3.添付資料シート(1)



3.添付資料シート(2)

① 現在の状況(大草共選所交差点から起点側を望む)



② 現在の状況



③現在の状況(整備済み区間)



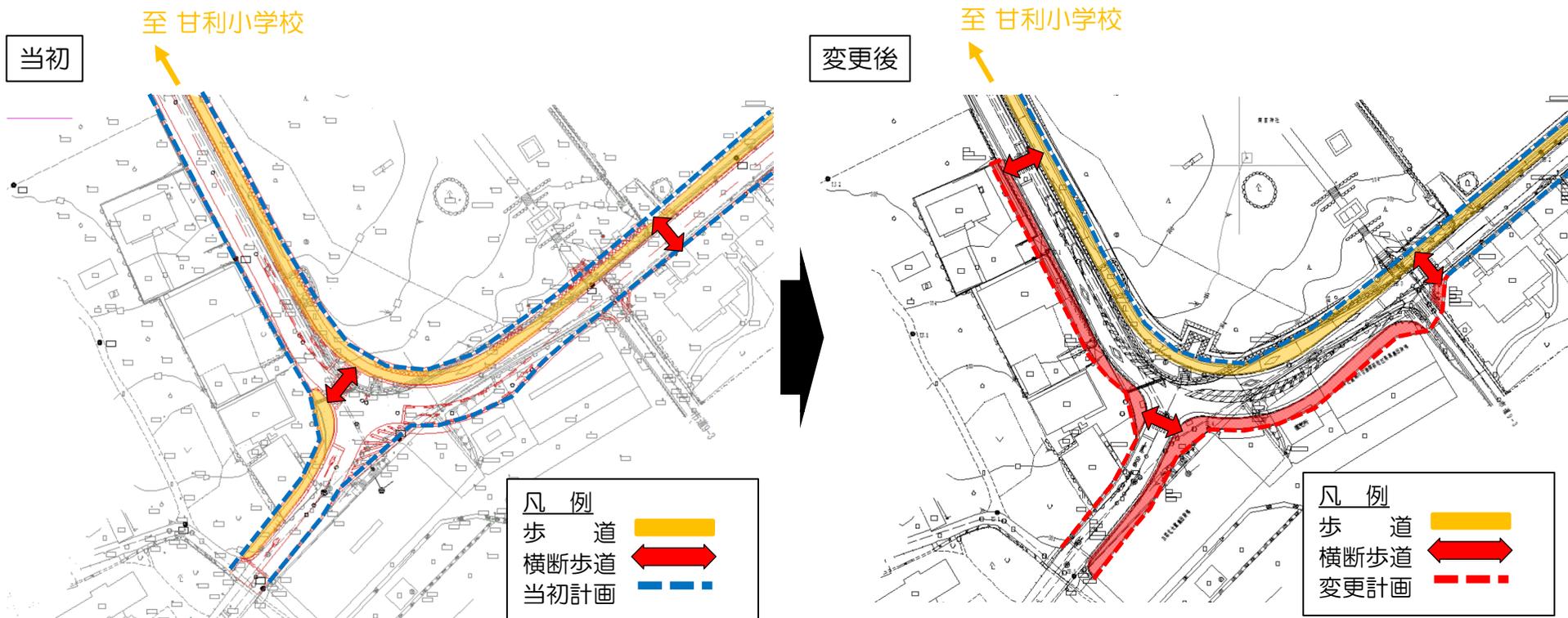
④ 通学時間帯の状況(事業化した平成29年当時の様子)



3.添付資料シート(3)

変更内容

交通管理者との協議により横断歩道位置が変更となったため、歩行者動線を考慮し、歩道の設置範囲を追加した



当初の横断歩道位置は、カーブ中で見通しが悪く危険なため、見通しのよい位置へ変更となった。

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H29	10,140	用地測量、用地買収	0.9%
H30	77,280	用地補償	7.6%
R1	283,520	用地補償	32.3%
R2	12,840	用地補償	33.4%
R3	49,620	用地補償、埋蔵文化財調査	37.7%
R4	171,100	用地補償、埋蔵文化財調査、道路改良工事	52.6%
R5	177,200	用地補償、埋蔵文化財調査、道路改良工事	68.0%
R6	21,300	用地補償、埋蔵文化財調査、道路改良工事	69.8%
R7	115,000	用地補償、埋蔵文化財調査、道路改良工事	79.8%
R8	60,000	道路改良工事	85.0%
R9	60,000	道路改良工事	90.3%
R10	80,000	道路改良工事	97.2%
R11	32,000	道路改良工事、道路台帳整備	100.0%
合計	1,150,000		